

2021 林業成長産業化地域サミット 林業成長産業化に向けた共同宣言(案)

全国の森林資源の多くが充実期を迎え、地域の環境、社会、経済に寄与する環境資本として、地域の森林の役割が期待されています。

国連による持続可能な開発目標「SDGs」の推進においても、世界的な規模で人々の暮らしに欠かせないものとして、森林の重要性が一段と増えています。

一方で、林業の担い手不足や、木材価格の低迷、住宅着工数の減少等により、林業・木材産業の停滞が続いており、地域の豊かな森林資源を循環利用し、林業・木材産業の成長産業化を図ることが、全国的な課題として認識されているところです。

このような状況において、各地域での林業成長産業化構想の実現に向けた取り組みは、地域林業の振興や木材産業の活性化のみならず、地域の森林資源を守り、豊かな地域社会を形成するうえで重要な役割を担っています。

私たちは、引き続き、北海道・東北地方の林業成長産業化地域として、情報共有し、広域的な連携・協力を図ることで、林業成長産業化地域構想を実現させ、これにより魅力ある地域と新たな雇用を生み出すことで、地方創生に貢献し、北海道・東北地方全体の林業を軸とした産業の活性化を目指すことに、全力で取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和3年2月16日

【進めよう 続けよう】やまがた^{もり}森林ノミクス

最上地域は、豊かな森林資源を「森の恵み」「森のエネルギー」として余すところなく活用（カスケード利用）する「緑の循環システム」の構築を進めています。

最上地域は、従来から稼働している大規模な製材工場（南東北最大級）に加え、新庄市内（新庄市中核工業団地）に大型集成材工場（H29.4 本格稼働）や木質バイオマス発電施設・燃料用チップ工場（30.12 本格稼働）が整備され、一昨年は日本最大級（長さ9.5m：従来は6mまで）のJAS製材品の生産が可能な製材工場が竣工するなど、東北でも有数の「木材集積団地」が形成され、産業として森林（もり）を活かす体制が充実してきています。



最上・金山地域は、「やまがた森林ノミクス」を牽引する先進地域として「林業成長産業化」に向け、他地域のモデルとなる多様な取組みを展開しております。

【留意事項】

※事前の予告なしで内容を変更する場合がありますので、ご理解願います。

<連絡先>

最上・金山森林ノミクス推進協議会

（事務局：金山町森林組合 常務理事：狩谷 業務担当：阿部）

TEL：0233-52-2840 FAX：0233-52-2740 Mail：info@kaneyamasugi.com



【林業成長産業化地域創出モデルの構築】

2021

林業成長産業化地域 サミットin最上・金山

令和3年 2/16 火

YouTube
ライブ配信

会場／金山町（役場会議室）

時間／13:30～16:30

- あいさつ
- 基調講演
- 事例報告（取組紹介）
- パネルディスカッション
- 林業成長産業化に向けた共同宣言

林業成長産業化地域サミットin最上・金山
の当日のYouTubeライブは、こちらから視聴できます。
（標記HP上で公開します）



<https://mkmorinomics.wixsite.com/seminar>

リモート開催：zoomで各地域をつなぎ会場からYouTubeによりライブ発信します。

※【アーカイブにより県内外の多くの市町村、林業事業体に継続的に情報発信されます】

【主催】最上・金山森林ノミクス推進協議会

【協力】最上地域林業振興協議会

【後援】山形県

金山町（山形県）大館市、北秋田市、上小阿仁村（秋田県）

南会津町（福島県）登米市（宮城県）

【県内団体後援（予定）】山形県森林協会、公益財団法人山形県みどり推進機構

山形県木材産業協同組合、山形県森林組合連合会、やまがた県産木材利用センター

【開催趣旨】

東日本地域の林業成長産業化モデル地域が主体となって、これまでの事業成果や今後の展望を事例報告するとともに、地域間連携による技術・事例の共有を促進し、参加した地域、ひいては東北地方の林業成長産業化を加速化するサミットを開催しウェブ配信します。

- 林野庁では、豊富な森林資源を活かして地域の活性化にモデル的に取り組む「林業成長産業化地域」を選定し、その地域の川上から川下までの関係者が連携して作成する5か年計画の「地域構想」に基づく取組を重点的に支援しております。
- 地域構想に基づく優良事例を創出し、全国への横展開を図ることで、林業・木材産業の成長産業化が加速化されることが期待されています。

<タイムスケジュール>



13:30~13:40 あいさつ

【主催者挨拶】最上・金山森林ノミクス推進協議会会長

(金山町森林組合長 岸 三郎兵衛)

【来賓挨拶】山形県農林水産部長 高橋 雅史 氏

13:40~14:00 基調講演 1

「林業成長産業化地域創出モデル事業のねらいと期待される事業展開」

- 事業発足時、林野庁長官であった立場から当該事業発足の背景・狙い・目指すべき姿等について振り返る

【講師】山形県森林協会 会長理事 今井 敏 氏

【プロフィール】

1955年群馬県生まれ。1980年に東京大学法学部を卒業し農林水産省入省。1990年には山形県農林水産部農政課長として本県でも勤務。その後、農林水産省の生産局長、大臣官房長など農林水産省の要職を歴任し、2014年7月より林野庁長官として林野行政の責任者として最先端で活躍。林野庁長官として、現在全国で取り組まれている「林業成長産業化」の枠組みを創設するとともに、森林環境譲与税に基づく新たな森林整備の構築に携わる。

2018年からは(独)農林漁業信用基金理事長として農林漁業をサポートするとともに、山形県みどり推進機構理事長に就任され本県の森林行政全般の指導に携わる。

14:00~14:30 基調講演 2

「森林・林業・木材産業の現状と将来 ～カーボン・ニュートラル 2050に向けて～」

- 山村地域で豊かな暮らしを営み、森林とその周囲にある資源をフル活用する先進的な研究・技術開発と、山村を起点としたカーボン・ニュートラルな地域社会の構築。

【講師】林野庁森林整備部付(前研究指導課長)森谷 克彦氏

【プロフィール】

1965年山形県生まれ。1988年に山形大学農学部を卒業後、農林水産省入省。林野庁林政部経営課特用林産対策室長、四国森林管理局計画保全部長などを歴任し、2018年1月より研究指導課長として林野行政の最先端で活躍。

この間、林野庁計画課では森林計画制度の企画・立案、同治山課では治山・保安林行政を担当したほか、出向した内閣府では科学技術政策にも携わる。研究指導課では、地域の森林資源の多面的な利活用を提案する「森林サービス産業」の創設・推進に携わる。

14:30~15:20 事例報告(取組紹介)

① 山形県：最上・金山地域(最上・金山森林ノミクス推進協議会)

ICTの活用と関係者協働による林業成長産業化
(航空レーザ計測を起点としたICT活用と川上～川下連携による新たな木材需要の創出)

説明者：金山町森林組合 常務理事 狩谷 健一 氏

② 秋田県：大館・北秋田地域(大館北秋田地域林業成長産業化協議会)

秋田スギのふるさと、ふたたび～産地の復活と森林資源循環～
(産学官協同による新たな需要創出と雇用創出、良質な秋田スギ産地としての価値向上)

説明者：大館市産業部林政課 主任主事 千葉 泰生 氏

③ 福島県：南会津地域(南会津町林業成長産業化推進会議)

「木の町」蘇生の実現に向けた取組
(森林認証の取得促進や地域材の有効活用による南会津の製品ブランド化)

説明者：南会津町農林課 林業成長産業化推進室 林業振興係長 渡部 和臣 氏

④ 宮城県：登米地域(登米市森林管理協議会)

森林認証への取組を契機とした林業サイクルの再構築
(持続可能な森林資源の育成と認証材の安定供給及び広葉樹材の高次加工による製品開発)

説明者：登米町森林組合 参事 竹中 雅治 氏

⑤ 北海道：渡島地域(北海道渡島総合振興局)

渡島産木材のブランド化への取組
(異業種と連携した木材利用)

説明者：北海道渡島総合振興局林務課 主査 小川 啓匡 氏

15:30~16:15 パネルディスカッション

テーマ 「林業成長産業化を基にした将来の地域の林業・木材産業」

【コーディネーター】山形県みどり推進機構 専務理事 安達 喜代美 氏

※山形県の「森林ノミクス推進監」として「やまがた森林ノミクス」を牽引

【パネリスト】 各県事例報告者

【アドバイザー】 林野庁森林整備部(前研究指導課長)森谷 克彦 氏
一般社団法人 林業経済研究所 フェロー研究員 藤原 敬 氏

16:15~16:30 林業成長産業化に向けた共同宣言・閉会

- 2021 林業成長産業化地域サミット in 最上・金山 (参加地域の首長によるメッセージ・宣言)

○大館市長：福原 淳嗣 氏 ○南会津町長：大宅 宗吉 氏 ○金山町長：佐藤 英司 氏